

# 施策分析シート（平成26年度）

No1

<b>施策名</b>	産業基盤の整備・充実		<b>施策No</b>	05-01		<b>部課名</b>	産業経済部経営支援課			
						<b>課長名</b>	勝田	<b>内線</b>	455	
<b>関連部課名</b>										
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	産業革新都市								
	<b>政策</b>	05 活力ある地域経済づくり								
<b>目的</b>	区が有する交通結節点としての優位性やモノづくり企業の集積等の地域ポテンシャルを活かした産業基盤の整備・充実を図ることにより、区内企業の活動を支援し、産業の活性化を促進する。									
<b>指</b>	<b>幸福実感指標名</b>		<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>				
			23年度	24年度	25年度					
	まちの産業				2.52	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？				
<b>標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>		<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>			
			23年度	24年度	25年度	26年度見込み				目標値(28年度)
	産業情報システムへの登録企業数		10,351	10,168	9,997	10,178	10,311	23～25年度実績(年度末)		
	産業情報システムへの登録率%		95.7	95.6	95.6	98.0	100.0	登録企業数 / 区内企業数		
<b>現状と課題（指標分析）</b>	<p>これまでの景気の低迷や外国製品との競合等による売上高の減少、経営者の高齢化や後継者の確保難等により、事業所数の減少傾向が続いており、産業活力の低下を来たしている。</p> <p>モノづくりのまち「荒川」を再生するため、新分野進出、販路拡大、後継者育成など、区内企業の経営革新に向けた取組みを支援するため、ハード、ソフト両面から基盤整備を一層推進するとともに、新たな区の基幹産業となりうる新産業の育成に取り組むことが必要である。</p> <p>「荒川区製造業実態調査」では「廃業・清算」予定者が多いとの結果を得たため、円滑な廃業となるよう、支援策を検討していくことが必要である。</p>									
<b>今後の方向性</b>	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>産業振興の拠点となる産業振興施設の整備の必要性等について総合的に検討を行っていく。</p> <p>区内企業の情報を一元的に収集し、情報発信等を通じて、受発注等販路拡大に活かしていく。平成25年度「荒川区製造業実態調査」の結果を踏まえ、企業情報を整理するとともに、平成26年度に実施した「小規模企業経営力強化支援事業」を展開するように、産業振興施策に有効活用していく。</p> <p>区内のモノづくり企業の団体である工業団体連合会を支援し、企業間交流及び人材育成を促進する。</p>									

施策の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	ハード、ソフト両面から産業基盤の整備・充実を図ることは、区内産業の活性化を促進していくために必要不可欠であり、当該施策の優先度は高い。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		24年度	25年度	26年度	27年度	
産業振興懇談会運営	05-02-01	0	0	推進	推進	新たな産業振興施策の構築のためには、各分野の専門家や企業経営者等による大所高所からの検討は重要である。
地域産業情報システム事業	05-02-02	756	756	推進	推進	区内企業の情報データベース整備・充実、区内産業の状況把握や受発注等販路拡大に繋がるものであり、重要である。
工業団体連合会補助事業	05-02-03	18	16	継続	継続	工業団体連合会は区内のモノづくり企業を束ねる唯一の団体であり、その維持・継続のための一定の支援は、区内産業振興の観点から必要。
荒川区製造業実態調査	05-02-04	-	3,388	休止・完了	休止・完了	一定期間を開けて実施しているため、翌年度は休止とする。
合 計		774	4,160			